【個体数】(表 5.4、図 5.32)

-春季-

・712個体であり、過年度の変動幅(1,339~4,401個体)を下回った。

--秋季-

・3,113 個体であり、過年度の変動幅(577~2,462 個体)の範囲を超過していた。出現の多かった羽アリを含むハチ目(約1000 個体)を除くと過年度の変動範囲内であった。

【湿重量】(表 5.4、図 5.32)

-春季-

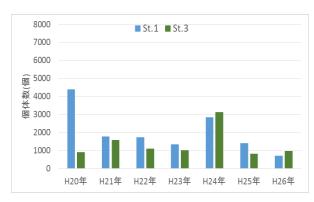
・17.1gであり、過年度の変動幅(45.8~76.9g)を下回った。

- 秋季-

・26.1gであり、過年度の変動幅(11.6~41.8g)の範囲内だった。

ーまとめー

St.1 (植栽個所) における個体数・湿重量は、St.3 (残地林) と比較すると、各年度で変動はあるものの、概ね同程度又は多く確認されたことから、餌昆虫の発生状況は良好と考えられる。



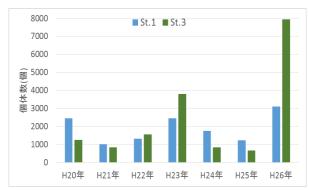
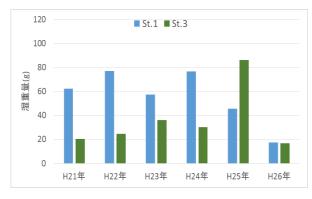


図 5.30 個体数の経年変化(左:春季、右:秋季)



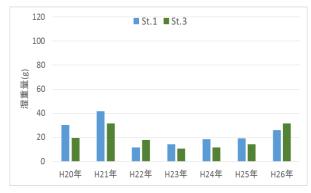


図 5.31 湿重量の経年変化(左:春季、右:秋季)

表 5.4 餌昆虫調査結果一覧 (St.1)

_	1														C+ 1 (+d	: +±+ +#+ /													
No.	分類群		St1(植樹帯) 個体数													湿重量(g)													
		春 季							秋 季								春季							秋 季					
		H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
- 1	トンボ目	_	_	_	_	1	_	-	-	1	_	1	_	_	_	_	_	_	_	0.05	_	_	0.4	_	0.04	-	_	_	_
2	シロアリモドキ目	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	_	_	-	-	2	-	1	_	_		1	1	-	1	-	-	_	0.003
3	ゴキブリ目	14	8	7	8	26	11	5	3	12	7	-	1	_	_	2	0.9	0.9	1.0	3.8	1.6	0.7	1.2	0.2	_	0.003	_	_	0.06
4	カマキリ目	-	1	-	1	1	1	_	_		_	-	-	_	_	1	_	1	-	_	1	1	1	-	1	-	1	-	_
5	シロアリ目	-	1	-	-	-	-	3	-	-	-	_	_	-	-	1	-	1	_	_		0.04	1	-	1	-	-	_	-
6	バッタ目	20	36	16	9	307	23	13	1	8	8	17	9	4	2	8	7.0	2.7	1.9	18.1	2.9	5.9	0.7	1.3	1.1	1.3	0.6	0.2	0.2
7	ハサミムシ目	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	_	_	-	-	7	-	1	_	_		1	1	-	1	-	-	_	0.1
8	チャタテムシ目	-	1	-	1	2	1	-	-	-	-	_	1	2	-	1	-	1	0.001	0.001	0.0004	1	1	-	1	0.001	0.001	_	-
9	ヨコバイ目	1,399	386	74	123	314	295	105	24	609	5	152	63	95	51	311	1.1	0.2	0.3	1.4	0.4	0.3	0.6	0.004	2.0	0.04	1.2	0.1	0.4
10	カメムシ目	857	258	721	210	1,205	155	36	24	363	188	152	53	676	57	147	1.8	4.5	4.8	29.7	1.5	0.5	2.7	3.6	1.2	0.6	10.0	0.1	0.7
-11	アミメカゲロウ目	- 1	1	_	1	1	2	-	-	1	-	_	15	-	-	_	0.003	_	0.002	0.2	0.2	_	0.01	_	_	0.1	_	-	-
12	コウチュウ目	1,657	523	337	249	531	479	107	115	229	87	437	146	82	59	684	37.6	42.3	31.5	15.9	32.5	7.4	5.4	3.2	3.8	2.6	2.4	1.4	4.8
13	ハチ目	28	80	50	38	106	131	74	19	154	136	177	100	173	50	994	0.3	0.1	0.1	0.3	0.5	0.1	0.3	0.4	0.3	0.3	0.2	0.04	1.5
14	ハエ目	30	81	27	31	31	37	35	104	500	6	135	1,464	467	416	112	0.1	0.4	0.02	0.01	0.01	0.23	0.5	0.1	0.03	0.3	0.4	0.2	0.1
15	トビケラ目	2	1	4	2	1	1	_	1	-	-	2	2	_	_	1	0.002	0.01	0.001	_	1	1	1	-	0.003	0.001	1	-	_
16	チョウ目	393	411	499	667	317	266	334	286	581	588	251	608	255	606	846	13.5	25.8	17.7	7.1	6.2	2.0	18.6	32.9	3.0	9.2	3.9	17.2	18.2
	合計	4,401	1,785	1,735	1,339	2,841	1,400	712	577	2,458	1,025	1,324	2,462	1,754	1,241	3,113	62.3	76.9	57.3	76.6	45.8	17.1	30.4	41.8	11.6	14.4	18.6	19.3	26.1

前年度と比較して増加 前年度比、同程度(変化量は3割未満とした。但し、10個体未満及び10g未満の変化は変化量にかかわらず含めた。) 前年度と比較して減少

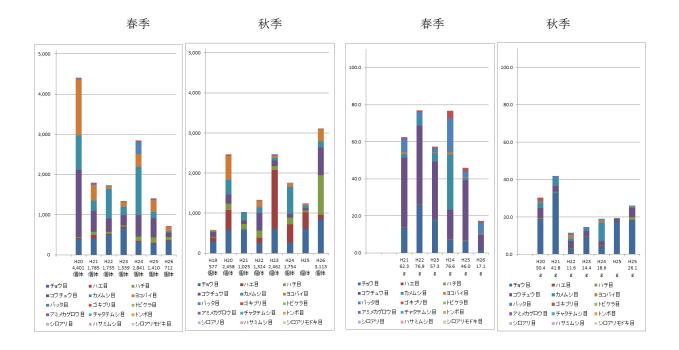


図 5.32 St.1における個体数と湿重量の経年変化(左:個体数、右:湿重量(g))

(イ) St.2 (植樹帯)

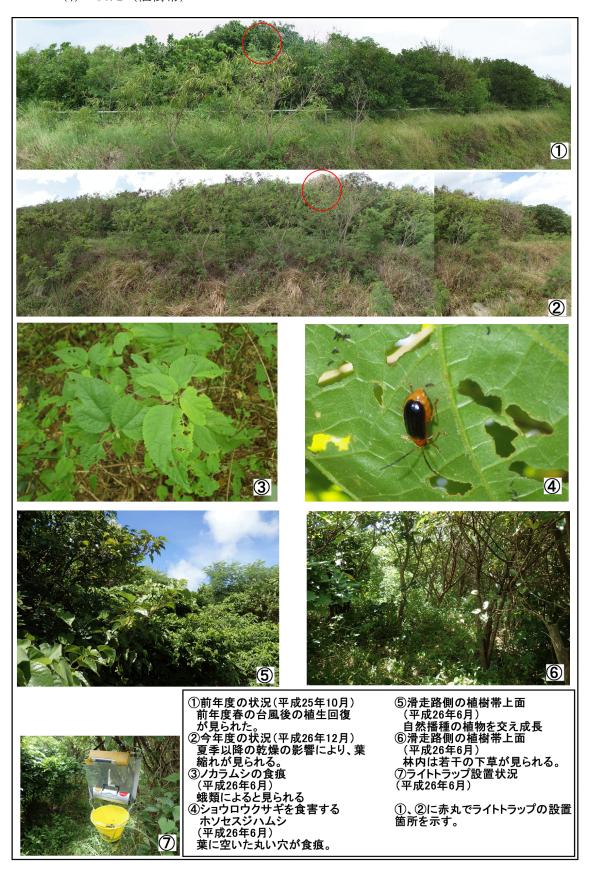


図 5.33 植生変化の状況 (St.2)

【個体数】(表 5.5、図 5.36)

-春季-

・596 個体であり、過年度の変動幅(1,110~3,519 個体)を下回った。

--秋季-

・3,373 個体であり、過年度の変動幅(295~5,088 個体)の範囲内だった。

【湿重量】(表 5.5、図 5.36)

-春季-

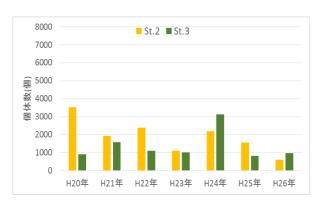
・37.6gであり、過年度の変動幅(43.9~106.3g)を下回った。

-秋季-

・18.7gであり、過年度の変動幅(12.2~65.4g)の範囲内だった。

ーまとめー

St. 2 (植栽個所) における個体数・湿重量は、St. 3 (残地林) と比較すると、各年で変動はあるものの、概ね同程度又は多く確認されたことから、餌昆虫の発生状況は良好と考えられる。



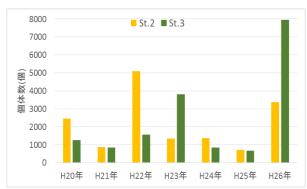


図 5.34 個体数の経年変化(左:春季、右:秋季)



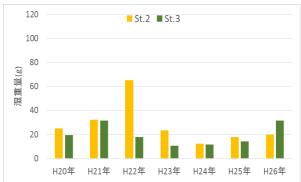


図 5.35 湿重量の経年変化(左:春季、右:秋季)

表 5.5 餌昆虫調査結果一覧 (St.2)

_															a. a / let	- 141 -444 \													
No.	分類群								個体数						St.2 (植	樹帯)	湿重量(g)												
			春季								秋季								□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □										
		H20	H21	H22	日子 H23	H24	H25	H26	H19	H20	H21	H22	≠ H23	H24	H25	H26	H21	H22	H23	≠ H24	H25	H26	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
1	トンボ目	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	1123	-	-	-	-	0.1	-	-	-	-	-	-	0.7	-	-	-	-
-	シロアリモドキ目	_	_		_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	-	_	_	_	_	_	_	-	_	_	_	_
-	ゴキブリ目	3	16	37	52	32	10	10		2	4	12	_	2	3	2	0.9	2.4	5.2	5.2	1.2	1.3	0.2	0.2	0.6		0.1	0.1	0.05
_			10							3	- 4								3.2			1.3			0.0				0.00
-	カマキリ目	_	_		_														_										
_	シロアリ目	-	_	_	-	-	-	-	_	-	_	_	_	-	-	-	_	_	-	-	_	_	_	_	-	-	-	_	_
6	バッタ目	9	85	50	11	511	30	15	_	21	3	53	3	6	5	2	14.0	4.9	1.1	26.4	5.3	7.0	2.5	1.5	3.2	0.4	0.8	0.8	0.2
7	ハサミムシ目	-	_	_	_	_	-	_	-	_	_	_	_	-	-	-	-	_	-	-	_	_	_	_	-	_	_	_	_
8	チャタテムシ目	_	1	_	-	3	_	_		2	8	1	3	1	2	1	_	1	_	0.001	1	1	0.003	0.01	_	0.001	0.001	0.002	0.0002
9	ヨコバイ目	286	225	127	52	310	452	76	8	428	41	712	33	22	20	192	0.6	0.2	0.2	2.8	1.5	0.4	0.5	8.0	0.9	0.04	0.04	0.02	0.2
10	カメムシ目	439	695	483	156	693	130	44	10	136	134	1,268	143	142	45	123	6.1	3.7	2.8	12.6	2.0	0.3	1.7	1.7	10.5	2.6	2.1	0.2	0.4
11	アミメカゲロウ目	_	1	_	- 1	-	_	_			1		1	1	2	_	-	1	0.003	_					-	0.01	0.004	0.01	_
12	コウチュウ目	2,631	326	583	163	339	385	159	91	937	36	1,888	175	124	30	389	27.4	67.4	13.6	11.7	48.9	26.1	7.1	1.2	31.9	2.1	3.1	1.5	3.0
13	ハチ目	45	103	230	32	76	166	59	4	233	44	550	86	49	31	1,537	0.2	0.4	0.2	0.2	0.4	0.2	0.5	0.3	0.9	1.0	0.05	0.05	2.03
14	ハエ目	6	41	75	20	29	43	15	66	302	16	109	174	639	161	156	0.02	0.3	0.003	0.03	0.02	0.01	0.2	0.02	0.03	0.1	0.2	0.1	0.1
15	トビケラ目	-	_	1	-	-	-	1	1	_	_	22	_	-	-	-	-	0.002	_	-	_	_	_	_	0.02	-	-	-	_
16	チョウ目	100	441	802	623	196	346	217	115	389	579	472	716	373	414	971	5.3	27.0	20.8	4.1	13.2	2.4	12.5	26.4	16.7	17.2	5.8	15.3	12.8
	合計	3,519	1,932	2,389	1,110	2,189	1,562	596	295	2,451	865	5,088	1,334	1,359	713	3,373	54.6	106.3	43.9	63.0	72.5	37.6	25.2	32.1	65.4	23.4	12.2	18.0	18.7

前年度と比較して増加前年度比、同程度(変化量は3割未満とした。但し、10個体未満及び10g未満の変化は変化量にかかわらず含めた。)前年度と比較して減少

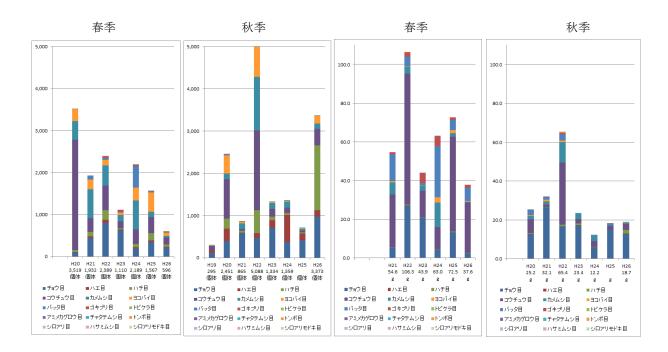


図 5.36 St.2における個体数と湿重量の経年変化(左:個体数、右:湿重量(g))

(ウ) St.3 (残地林)

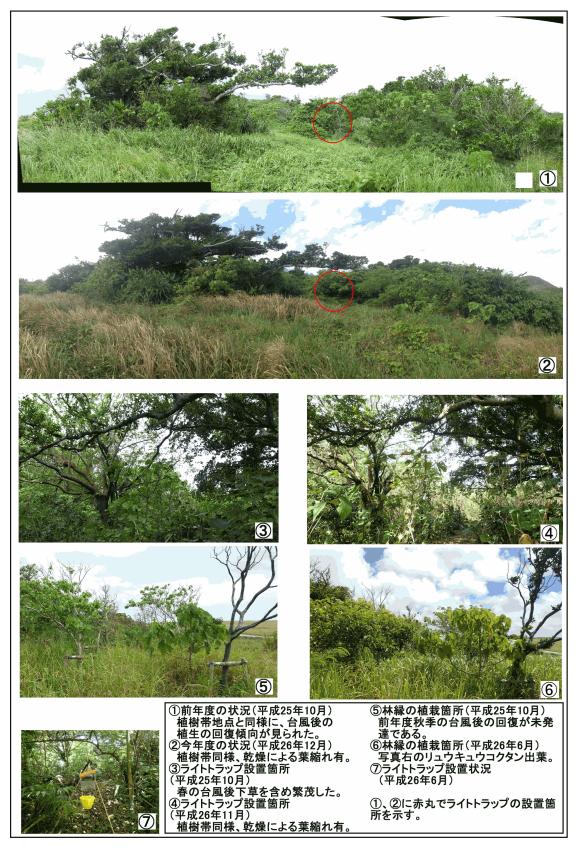


図 5.37 植生変化の状況 (St.3)

【個体数】(表 5.6、図 5.38)

-春季-

・972 個体であり、過年度の変動幅(812~3,128 個体)の範囲内であった。

-秋季-

・7,958 個体であり、過年度の変動幅(663~3,814 個体)を大きく上回った。出現の 多かった羽アリを含むハチ目(約5000 個体)を除くと過年度の変動範囲内であった。

【湿重量】(表 5.6、図 5.38)

-春季-

・16.9gであり、過年度の変動幅(20.5~86.3g)を下回った。

-秋季-

・31.7gであり、過年度の変動幅(10.7~31.7g)の範囲内だった。

ーまとめー

湿重量の推移をみると、春季に少なく、秋季は多い傾向があったものの、概ね過年 度の変動範囲内であった。

平成 24 年度の秋季には、台風に伴う被害があったが、これらのコウチュウ目の昆虫は倒木や腐植物に依存する昆虫であったことから、一時的な影響と考えられる。

平成 25 年度は、春季に過年度に比べて増加した。捕獲された昆虫の多くは、カミキリムシやコガネムシ類などのコウチュウ目であった。

平成 26 年度は、秋季で過年度に比べ増加し、コウチュウ目、ハチ目が多く捕獲された。春季と秋季ともに過年度の変動幅と比較して、概ね同程度であった。